

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	新編 新しい国語1・2・3	発行者	東京書籍株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・多様性及び共生社会の内容があつてよい。
- ・1年次の古典教材の導入として内容が不十分。
- ・著名な作家が出稿し、視点が充実している。
- ・朗読、詩、表現技法について、それぞれの単元に「説明」が多い印象。親切なのか、生徒の思考を阻むものになるのかは不透明。
- ・他の発行者に比べ情報量が多い。一方で、図化が足りず、わかりにくく思う。中学校1年生P176「構成メモ」など。
- ・分かりやすさという点で、活字が小さいページ、特に初めの方が、気になる。
- ・单元ごとの読み物が少ない分、言語活動などを取り入れやすい。
- ・「伏線」が強調されている。
- ・「推敲」の指導内容の記載が曖昧である。
- ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も時代網羅的に取り上げられており、適切な内容と考えられる。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も取り上げられており、適切な内容と考えられる。
- ・漢字のふりがな等、適切な配慮がなされていると思う。
- ・「てびき」があり、その単元を学ぶにあたって身に付けるべき力が書かれている。
- ・教材は適切である。
- ・「てびき」に学び方や学習の進め方が記載されている。
- ・「言葉の力」に、指導事項が掲載されている。
- ・思考力・判断力・表現力等の育成 として、「思考のヒント」や「未来を考えるための9つのテーマ」が掲載されている。

観点② 構成及び分量

- 单元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・1年次の「さんきち」は内容として適切か疑問がある。
- ・基礎的・基本的な内容がしっかりしている。
- ・各領域の分量が適切である。
- ・主に現代文の分量が多く、生徒によっては文を追えないといった可能性があると感じる。
- ・各領域の教材が充実している。
- ・「情報」の処理の仕方など、最後にまとめられていて、見つけやすい。
- ・「てびき」が少なく、ポイントをおさえにくい面がある。
- ・学年が上がるごとに小説作品の抽象度が高くなるように作られている。
- ・読書教材が豊富で、たくさんの文章にふれることができる。また、詩の教材に詩の読み方に関する解説文が付されており、学ぶ上でのポイントを知ったうえで授業に臨むことができる。
- ・漢字や文法、言語などについての単元が複数確保されていて、充実している。
- ・詩歌に鑑賞文も掲載されているため、鑑賞の視点を学びやすい。
- ・「てびき」等で各単元の進め方が示されている。
- ・資料は主に巻末にまとめられている。
- ・単元の系統性が把握しやすく表示されている。
- ・構成及び分量は適切である。
- ・資料の量は、発達の段階から考えると少なめである。

観点③ 表記及び表現

- わかりやすく、読みやすい表記、表現
- 記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現
- 一貫性をもった記述

意 見

- ・字が大きめで、見やすい。ただし、2段になっているページは1行への文字量が少なすぎて逆に読みにくい。
- ・ページで単色の傾向が高く、見にくい印象がある。
- ・図表が見やすい。
- ・簡潔かつ平易な文章で書かれている。
- ・書く分野での例文や、読む分野の教材での写真など資料が多い。一方で1ページあたりの文字量が多く、文字の大きさにめりはりがないため読みにくさを感じる生徒もいるのではないかと感じる。
- ・「学びの扉」の項目において、漫画を用いて興味をひきつけてから学習に入っている工夫がなされている。
- ・文字が大きめに印刷されており、見やすい。挿絵や図版が教材ごとに配されている。色づかいは抑えた色合いのものが多く、目にやさしいと感じられる。
- ・カラフルで、絵や写真、図などが多用されている。
- ・行数が数えやすいよう、文章の下に「・(点)」が打たれている。
- ・挿絵のキャラクターが現在の中学生が親しみをもちやすい。
- ・写真、挿絵が適切にあり、視覚的にわかりやすい。
- ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。
- ・一貫性をもった記述となっている。

観点④ 使用上の便宜

- 全体の構成が見通せる配慮
- 学習活動を進めやすくする配慮
- 印刷、製本に対する配慮

意 見

- ・全体を構成から見通しやすい。
- ・各単元のつながりが適切でスムーズに行える内容になっている。
- ・学習の進め方が載っているので、学習の見通しが立てやすい。
- ・目次のほか、領域別教材一覧が付されており、全体の構成が見通せるほか各領域において身につける力についても確認することができるようになっている。一方で、目次が主要教材と補助教材が上下段に分けられているのがやや見づらく感じる。
- ・全体構成は見開き1ページでより簡潔に示されている。
- ・学習の見通しが右側まとめられて表示されておりわかりやすい。
- ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。
- ・キャラクターを活用して、学習のポイントを示している。

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意 見

- ・2次元コードを使いやすくする工夫が必要。
- ・2次元コードがあり、デジタル教材へのリンクもしやすい。
- ・2次元コードのリンクは動画や話し方の音声など、活用の幅が広いと感じる。
- ・2次元コードは多く掲載されている。
- ・2次元コードの内容は教科書に記載されている。
- ・2次元コードについてコンテンツ一覧でまとめられている。
- ・2次元コードでのコンテンツが豊富である。
- ・2次元コードに何がおさめられているかわかる。
- ・コンテンツ一覧があり、どのようなデータがおさめられているかがわかる。
- ・一目見て2次元コードに何が載っているのか分かる。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意 見

- ・裏移りせず、紙が良い。
- ・グループディスカッションの教材がある。
- ・内容が発展的なため、発達の段階によっては家庭学習用の補助があるといい。
- ・オーソドックスなつくりの安心感の中に、探究的な学びにつながる工夫も多く、使ってみたいと思わせる教科書である。
- ・「他教科で学ぶ漢字」という項目が設けられている。
- ・SDGsに関する記載はあまり見受けられない。
- ・学年末の教材がSDGsに関するものが扱われるなど、複数のテーマが扱われており分量が適切である。
- ・「生活に広げよう」という項目があり、活用の幅を感じる。
- ・SDGsへの配慮がある。
- ・「未来への扉をひらこう」には、現代的な課題について考える教材が掲載されている。

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	現代の国語1・2・3	発行者	株式会社三省堂

観点① 内容等	
○教材の適切さ	○基礎・基本の確実な習得
○教材や資料の正確さやわかりやすさ	○思考力・判断力・表現力等の育成
○生徒の発達の段階に対する配慮	○主体的・対話的で深い学びへの配慮
○学び方、考え方の習得	
意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・著名なアーティストなどの現代の歌詞も載っているのが新しい。 ・文法が文法書のようにきちんと解説されていて良い。練習問題がもう少しあるとさらに良い。 ・読解力の手立ても3年間にわたって継続して学習できるのが良い。 ・書くことの指導教材も充実している。 ・著名な作家が多い。 ・P156「情報の信頼性～」など教材を活用して思考力・判断力・表現力等の育成ができるような手立てがある。 ・巻末の「読書の広場」「百人一首」など資料面が豊富。 ・「推敲」の観点や仕方が明確に記載されている。 ・とくに論説文等において、玄関扉やじゃんけん、動物園、広告と、生活になじみのあるキーワードや題材をもとにした教材が多数あり、生活に即して理解しやすいと考えられる。 ・「読み方を学ぼう」の項目において、批判的な読み方や三角ロジックなど、読むことじたいの方法論が豊富に示されており、読みに関する確認ができ、指導がしやすいと考えられる。3年間を通して巻末に付録としてまとめられている。 ・教材には、現代作家による文章など時代に応じたものが多く掲載されている。 ・「学びの道しるべ」という名前で目標の確認と振り返りができるようになっている。読み方や学びの深め方も系統的に示されている。 ・生徒が楽しめる内容となっている。また、基礎的な内容が多い。 ・「漢字を身につけよう」がいい。短文が面白い。 ・いずれの観点においても、配慮がなされている。 ・定番教材に加え、アーティストや作家など、生徒が親しみを持ちやすい有名人のコラムがあり、興味を引きやすい。 ・各単元で「学びへの扉」があり、その単元で身に付けるべき力が書かれている。 ・基礎・基本の確実な習得に関する学習内容については、特化して取り上げられていない。 ・思考力・判断力・表現力等の育成については、「思考の方法」「語彙を豊かに」「読みを学ぼう」等で示している。 	
観点② 構成及び分量	
○単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ	
○各領域の分量、発達の段階に応じた分量	
○教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い	
○基礎的・基本的事項等の取り扱い	
意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な内容も多い。 ・「字のない葉書」は他の出版社の教科書では中学校2年生の配置だが、中学校1年生に配置している意図はどこにあるのか。 ・実際の授業に即した単元内容が示されていて、授業を進めやすい形になっている。 ・「読み方を学ぼう」シリーズのコラムで、基礎的・基本的事項をおさえている。同様の内容が各単元、および巻末にもまとめられている。 ・巻末の資料が豊富。言語や情報活用の方法も確認しやすい。 ・同じ領域の活動が、学年が上がるごとにより高次化していくように作られていて、段階を経て発展的な内容が学習できるように作られている。例：スピーチ(1年生)→プレゼンテーション(2年生)→パブリックスピーキング(3年生) ・「学びへの扉」等で各単元の進め方が示されている。 ・単元ごとに多くの資料が掲載されている。 ・資料が多いため、教科書自体はやや厚くなっている。 ・小学校からの円滑な接続についても意識されている。 ・構成及び分量は適切である。 ・基礎的・基本的事項等については、具体的には挙げられていない。 ・発達の段階から考えて資料の量が多い。 	

観点③ 表記及び表現	
<ul style="list-style-type: none"> ○わかりやすく、読みやすい表記、表現 ○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現 ○一貫性をもった記述 	
意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・字の太さや大きさにめりはりがあるため見やすい。重要な語句を見つけやすい。 ・色がきれいで見やすい。 ・色調がビビッド。 ・レイアウトなど見やすい。 ・表紙含めカラフルで生徒が感心をもつ表現になっている。 ・1部の挿し絵が不自然である。 ・カラフルで、絵や写真、図などが多用されている。 ・目を引く多様な挿絵がある。 ・写真、挿絵が適切にあり、視覚的にわかりやすい。 ・キャラクターのコメントが理解を深めやすくしている。 ・実際の資料(写真)ではなく、イラストが多い。 ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。 ・イラストや絵の位置が様々である。 	
観点④ 使用上の便宜	
<ul style="list-style-type: none"> ○全体の構成が見通せる配慮 ○学習活動を進めやすくする配慮 ○印刷、製本に対する配慮 	
意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・軽くて良い。 ・見通しが立てやすい。 ・全体の構成や学習活動のまとまりがわかりやすい。 ・学習の流れが分かりやすくなっている点が良い。 ・学習内容の「ポイント」が明確に掲載されている。 ・各単元末に付されている「学びの道しるべ」により、内容整理→読みの深化→自身の考えの深化という筋道が立てられていて、段階を踏んで学習していけると考えられる。 ・1ページ内の情報が適切。 ・全体構成は見開き3ページにわたって説明されている。 ・見出しなどにデザイン性があり、親しみやすいものになっている。 ・学習の進め方が掲載されているので、学習の見通しが立てやすい。 ・3ページにわたって、全体の構成を示している。 ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。 	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ	
○2次元コードによる学習内容	
○見やすさ、操作性	
意 見	
<ul style="list-style-type: none"> ・一覧での掲載がある。 ・見やすく活用しやすい。 ・内容に動画が少ない。 ・スピーチの音源がないなど、デジタル教材が薄く感じられる。 ・2次元コードは多く掲載されている。 ・2次元コードの内容は教科書に記載されている。 ・2次元コードコンテンツなどがあり、「読み方」解説動画などが利用できる。 ・2次元コードに何がおさめられているかわかる。 ・一目見て2次元コードに何が載っているのか分かる。 ・漢字の学習ができるようになってきているが、1人1台端末上でも読み書きの記入ができるとよい。 	
観点⑥ 特記すべき事項	
○地域性への配慮	
○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ	
○対話的な学習が行いやすい工夫	
○SDGsへの配慮	
○その他	
意 見	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への教材が目立った。 ・SDGsを取り入れている。 ・SDGsの観点で意見文を書く単元等あり、探究学習もしやすい。 ・資料編が充実しており、他教科との関連が図りやすくなっている。 ・SDGsに関する記載はあまり見受けられない。 ・対話を促す活動が「学びの道しるべ」など随所で促されている。 ・SDGs等、現代社会の課題に関するページが設けられている。 ・SDGsへの配慮は見受けられない。 ・教材の中で、SDGs等について触れている。 	

教科用図書に関する意見(学校用)

教科名	国語	種目	国語
教科用図書名	伝え合う言葉 中学国語1・2・3	発行者	教育出版株式会社

観点① 内容等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○教材の適切さ | ○基礎・基本の確実な習得 |
| ○教材や資料の正確さやわかりやすさ | ○思考力・判断力・表現力等の育成 |
| ○生徒の発達の段階に対する配慮 | ○主体的・対話的で深い学びへの配慮 |
| ○学び方、考え方の習得 | |

意見

- ・呉音・漢音・唐音などレベルの高い項目がある。負担になるのではないか。
- ・漫画に関しての内容は面白そうだが美術っぽく、メディア学習と離れてしまいそう。
- ・「学びナビ」が非常にわかりやすい。目標の共有になるので助かる。
- ・なじみの少ない作品が多く、評価が難しい。
- ・思考力・判断力・表現力の育成に向けての教材として掲載順序に疑問がある。
- ・最近の著名な作家も入っており、生徒にもなじみがある。
- ・中学校1年生P24「桜蝶」のような単元は物語文の読み方を学ぶのに効果的だと感じた。
- ・中学校2年生P22「タオル」の学習をするところで、「象徴」のようにその単元を通して学習する技能の説明をすることで、生徒が自身の学習を認知することができると思う。
- ・生徒が興味をもちそうな題材が充実している点が良い。
- ・「推敲」の観点や仕方が明確に記載されている。
- ・かねてから教科書に収録されてきた定番的な教材に加え、近現代作家も時代網羅的に取り上げられており、適切な内容と考えられる。
- ・人工知能についての文章など、時代性をふまえた教材がとりあげられている。
- ・「学びナビ」として学習のポイントを提示している。予習がしやすそう。
- ・各単元の最初に「目標」が設定され、最後の「みちしるべ」の中で「振り返り」ができるようになっている。
- ・すべての領域でSDGsとの関連性を図っており、社会との結びつきが分かりやすい。
- ・いずれの観点においても、配慮がなされている。
- ・人工知能についての文章など、時代性をふまえた教材がとりあげられている。
- ・「学びナビ」として学習のポイントを提示しているため、予習がしやすそう。
- ・古典を現代文や図解を用いて説明しており、古典に苦手意識がある生徒も理解しやすいと考えられる。
- ・「言葉・情報」の学習が充実している。
- ・「学びナビ」として、学習のポイントを明示している。
- ・「学びナビ」で、基礎・基本の確実な習得としておさえるべきところが明示されている。
- ・『ベンチ』『夏の葬列』、村上春樹の『パースデイガール』は発達の段階から考えて高度である。
- ・「みちしるべ」には、学習の進め方が示されている。
- ・「学びナビ」には、指導事項が掲載されている。

観点② 構成及び分量

- 単元(教材)の構成、配列及び発展性、系統性の適切さ
- 各領域の分量、発達の段階に応じた分量
- 教科の特質に即した主要教材あるいは補助教材の取り扱い
- 基礎的・基本的事項等の取り扱い

意見

- ・3年次に村上春樹やさくらもこの作品があるが、すべて巻末の教材である。
- ・系統立っている。
- ・領域がまとまっている。
- ・各領域の分量が適切でないものもある。
- ・読みの観点として、「象徴」表現に注目させている点、重要学習事項を押さえている。基礎であるとともに、深い学びにつなげていける。
- ・巻末のとり込みが「話し言葉」であり実践的である。
- ・各教材の補助教材が充実している。
- ・読書教材が豊富で、たくさんの文章にふれることができる。
- ・漢字や文法、言語などについての単元が複数確保されていて、充実している。
- ・「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の単元が各学年ともに5単元以上あり、分量は充実している。
- ・「学びナビ」が単元の最初にあるため、読み方のポイントを具体的に意識して読みやすい。
- ・巻末資料は大変豊富であるが、文章量はやや多い。
- ・「学びナビ」「みちしるべ」等で各単元の進め方が示されている。
- ・単元ごとに資料が掲載されている。
- ・余白が多めで、ページごとの見やすさを考慮している。そのため、教科書自体は厚い。
- ・各教材の補助教材が充実している。
- ・「学びナビ」が単元の最初にあるため、読み方のポイントを具体的に意識して読みやすい。
- ・単元ごとで理解する部分とそれを活用する部分があり、横断的な学習をしやすいと考えられる。
- ・読み物教材の量が多いように感じる。
- ・全体的に分量が多い。
- ・資料の量は適切である。
- ・「学びナビ」には、各学年で身に付けなければならない指導事項が網羅されている。

観点③ 表記及び表現	
○わかりやすく、読みやすい表記、表現	
○記号、式、図形、挿し絵、写真、文字の大きさ、色の使い分け等の表現	
○一貫性をもった記述	
意 見	
<ul style="list-style-type: none"> ・シンプルで文が多く、見やすい。 ・資料や絵が足りなくはないが、もう少しあると良い。 ・配色が昔っぽい。 ・色味が落ち着いていて見やすい。 ・文章は文字が大きめだが、漢字や「広場」などのページは小さくなる。 ・中学校1年生P227グラフなどが小さい。 ・新出漢字のポイントが大きく、文字も太いので学習しやすい。巻末にまとめられている各学年で学習した漢字も大きく掲載されている。 ・教材ごとに、理解を助ける図版やグラフ等が掲載されているほか、色づかいもカラフルに感じられ、生徒が親しみをもって授業に臨めると考えられる。 ・古典の口語訳が下段に記載されていたり、原文の横に記載されていたりと、ばらつきを感じる。 ・写真が多く、レイアウトにも凝っている。 ・カラフルで、絵や写真、図などが多用されている。 ・行数が数えやすいよう、文章の下に「・(点)」が打たれている。 ・教材ごとに、理解を助ける図版やグラフ等が掲載されているほか、色づかいもカラフルに感じられ、生徒が親しみをもって授業に臨めると考えられる。 ・写真、挿絵が適切にある。 ・文字サイズにはばらつきがあり、視覚的にわかりにくい。 ・シンプルに記述されている。 ・字体が細い。単元内でも文字の大きさが統一されていない。 ・挿絵や図、イラスト、写真等が鮮明で、教材本文が目立たない。 	
観点④ 使用上の便宜	
○全体の構成が見通せる配慮	
○学習活動を進めやすくする配慮	
○印刷、製本に対する配慮	
意 見	
<ul style="list-style-type: none"> ・折りたたみページがないので、めくりやすい。 ・全体を見通しやすい。 ・「言葉と出会う」など、学習の観点を示す前置きのようなものがある。活用のしかたは検討が必要。 ・やや厚め。 ・紙質が軽い印象。 ・学習活動に必要な手びきが生徒にとっても指導者にとっても有効。 ・学びナビによって学習の見通しが立てやすい。 ・教科書の巻頭に学ぶ内容と身に付けたい力が一覧で提示されているのがよい。 ・資料が充実しているため、作品の情報を理解しやすい。 ・全体構成は見開き2ページにわたって説明されている。 ・学びナビによって学習の見通しが立てやすい。 ・先に知識を教えるから練習、という流れがある。 ・1ページ内の情報量が適切である。 ・教材の分量が多い分、製本が分厚くなっている。 ・各教材の最初に登場するキャラクターの言葉が、学習の導入となっている。 	

観点⑤ 準拠するデジタル教材の使いやすさ

○2次元コードによる学習内容

○見やすさ、操作性

意見

- ・2次元コードがあるが、わかりにくい。
- ・2次元コードがあるが、その明確性では他の発行者に劣る。
- ・2次元コードは目次にのみのもっている。
- ・2次元コードは多く掲載されている。
- ・2次元コードの内容は教科書に記載されていない。
- ・2次元コードがあるが、何のデータがあるのか一目ではわからない。
- ・2次元コードには見出しが付いていないため、何が載っているか開いてみないと分からない。

観点⑥ 特記すべき事項

○地域性への配慮

○探究的な学びや家庭学習での使いやすさ

○対話的な学習が行いやすい工夫

○SDGsへの配慮

○その他

意見

- ・3年次に対話的な力の育成に向けた教材が充実している。
- ・家庭学習についても補助教材があるとよい。
- ・全学年にそれぞれSDGsのそれぞれの目標について触れた文章を掲載しているため、生徒が繰り返しSDGsについて考えることができる。
- ・本の紹介が多く、日常的に読書活動へのきっかけをつかみやすい。
- ・レポートの書き方、学習用語のページがあり、便利である。
- ・「SDGs」の内容が人権作文等と結び付けて用いることができる。
- ・全体構成の記載の中に、SDGsについての記載がある。
- ・全学年でSDGsに着目した教材を掲載している。
- ・現代的な課題に向き合えるような教材を掲載している。
- ・SDGsへの配慮がある。
- ・SDGsについては、「言葉の地図」で触れられている。



0		0	
0		0	
0		0	
0		0	



CE

